

## (6月の野菜の見通し)

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
だいこん		8,214	95	9,475	94	105	82	10	0.1	北海道、青森産中心の入荷で全体の約9割を占める。北海道産は、5月中旬からハウスものの出荷が始まったが、露地ものの生育は、融雪の遅れから例年より7～14日程度の遅れとなっている。青森産も低温の影響で、例年より10日程度の遅れとなっている。全体の入荷量は、作付減、生育遅延、肥大不足などの要因により、少なかった前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。
にんじん		6,979	95	7,515	138	102	122	-	-	千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。千葉産は、ここ数年作付面積が減少傾向にある。生育は低温でやや遅れぎみだが概ね順調。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格はほぼ前年並の見込み。
はくさい		6,079	100	6,364	73	100	67	-	-	長野産中心の入荷で全体の7割以上を占める。長野産は、4月以降の低温の影響で生育が遅れ気味に推移しているものの、玉張りは順調。全般的に入荷量・価格は前年並の見込み。
ほうれんそう		1,467	102	1,545	496	90	483	-	-	岩手及び群馬、埼玉、茨城、栃木の関東産が市況をリードする。各産地とも、低温の影響で生育は7日程度遅れているが、6月に入ると前年並みの出荷ペースになる見込み。全体の入荷量はほぼ前年並、価格は高値であった前年を下回る見込み。
キャベツ類		14,746	98	14,988	92	100	67	-	-	千葉、茨城産中心の入荷で全体の約6割を占める。千葉、茨城産とも、低温の影響で生育は遅れ気味で経過しているが、肥大は問題なく順調。全体の入荷量はほぼ前年並、価格も高値であった前年並で推移する見込み。
ねぎ		4,463	100	4,327	248	97	287	6	0.1	茨城、千葉産中心の入荷で全体の約8割を占める。各産地とも生育は概ね順調。全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや下回る見込み。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
レタス類		8,159	100	7,947	157	85	134	-	-	長野、群馬産中心の入荷で全体の約8割を占める。長野産は、低温による生育の遅れは2～3日程度で、6月下旬にほぼ切りあがる見込み。群馬産は低温の影響で生育が7日程度遅れており、又、一部地域で霜害が発生したが、昨年は台風被害で出荷がかなり落ち込んだため、今年は前年を上回る出荷の見込み。全体の入荷量は前年並、価格は高値であった前年を大幅に下まわるものの前年並の見込み。
きゅうり		8,215	97	8,269	190	105	200	232	2.8	埼玉、群馬の関東産と福島産中心の入荷で全体の約6割を占める。各産地とも、低温による生育の遅れはみられるものの、概ね順調。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。
なす		4,124	100	4,376	304	100	308	-	-	高知、群馬産中心の入荷で全体の約6割を占める。高知産は、生育は概ね順調であるが、作付面積の減少により出荷量は前年をやや下回る見込み。群馬産は、低温の影響で7日程度遅れており、5月は例年を下回る出荷となったが、6月は順調な出荷となる見込み。入荷量、価格とも前年並の見込み。
トマト		9,058	100	10,261	252	95	207	234	2.6	栃木、茨城、千葉産中心の入荷となる。関東主産地は、低温の影響で5月前半は出荷ペースが停滞したが、下旬からは着果、果実肥大とも概ね順調で、6月もほぼ前年並の出荷となる見込み。全体の入荷量は前年並、価格は高値であった前年をやや下回るものの前年よりは高値で推移する見込み。
ピーマン		2,725	100	2,695	290	85	239	-	-	茨城産中心で全体の約9割を占める。茨城産は、低温の影響で5月は例年を下回る出荷となったが、6月は順調な出荷となる見込み。全体の入荷量は前年並、価格は高値であった前年を下まわるものの、前年より高値で推移する見込み。

品目	区分	入荷量(t)			キロ当たり単価(円)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5ヵ年平均	前年入荷 量(t)	前年占有 率(%)	
ばれいしょ		8,285	100	9,072	120	108	115	-	-	長崎、静岡、千葉産中心の入荷となる。長崎産は凍霜害の影響も回復してきており、品質も良好で出荷量は前年並を確保できる見込み。全体の入荷量は前年並、価格は前年を上回る見込み。
たまねぎ		11,249	100	13,332	83	105	72	-	-	佐賀、香川、兵庫産中心の入荷で全体の約7割を占める。佐賀産は低温の影響により生育の遅れはあるものの、作付増もあり出荷量は前年をやや上回る見込み。香川、兵庫産は生育は遅れているものの、作柄は概ね良好。全体の入荷量は前年並、価格は前年をやや上回る見込み。
アスパラガス		762	85	736	902	115	944	-	-	北海道、長野、佐賀、新潟産中心の入荷となる。各産地とも融雪の遅れや低温の影響により、5月の出荷量は前年を大幅に下まわっており、6月もこの傾向が続く見込み。全体の入荷量は前年を下まわり、価格は前年を大幅に上回る見込み。
えだまめ		979	92	907	852	105	857	2	0.2	千葉、埼玉、群馬産中心の入荷で全体の約9割を占める。千葉産はハウスものの出荷が5月中旬から始まったが、低温の影響で平年より10日程度遅れている。トンネルものは6月中旬がピークとなるが、抵抗不順の影響で実の充実がやや不良。全体の入荷量は前年を下回り価格は前年を上回る見込み。